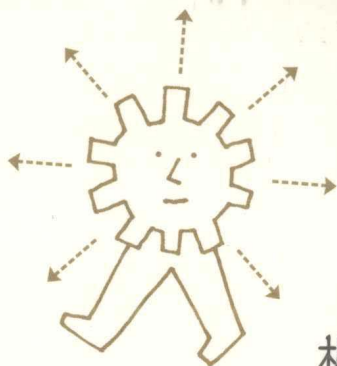




38歳から

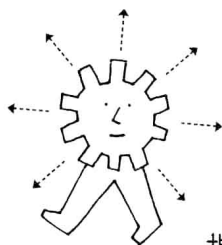
櫻井秀勲

*Hidenori
Sakurai*

運がひらける

7つの習慣

38歳から

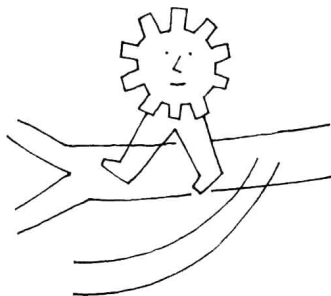


櫻井秀勲

*Hidenori
Sakurai*

運が

常川欠ける
蔵求慣章



海竜社

【著者紹介】

櫻井秀勲（さくらい ひでのり）

1931年、東京生まれ。東京外国語大学ロシア語科卒。31歳の若さで『女性自身』の編集長に抜擢されるや、100万部雑誌に育てあげる。女性誌キャリア30年のノウハウの蓄積を理論化した著書や講演には定評がある。現在、株式会社ウーマンウェブ代表取締役会長。

2009年より早稲田運命学研究会主宰。文芸誌の編集者時代に、芥川賞作家にして、手相学・人相学の天才ともいわれた五味康祐に師事。人相学・手相学をはじめとする「運命学」を直伝。以来、独自に研究を重ねながら、占い・運命学を活用。『運命は35歳で決まる！』『運命が怖いくらいわかる事典』（以上、知的生きかた文庫）、『日本で一番わかやすい運命の本』（PHP研究所）など、運命学に基づく著作はいずれもロングセラーになっており、その研究は50年に及ぶ。また、運命学以外の著書も多く、『自分の適職がわからない時に読む本』（スリーエーネットワーク）、『たった5分で女心をつかむ！会話術』（王様文庫）など、その数170冊を超える。

櫻井秀勲公式HP <http://www.sakuweb.jp>

38歳から運がひらける7つの習慣

二〇一〇年四月二十二日 第一刷発行

著者 櫻井秀勲
さくらい ひでのり

発行者 下村のお子

発行所 株式会社 海竜社

東京都中央区築地二の十一の二十六 〒一〇四—〇〇四五

電話 (〇三) 三五四二—九六七一 (代表)

FAX (〇三) 三五四一—五四八四

郵便振替口座 〇〇—一〇—九—四四八八六

出版案内 <http://www.kairyusha.co.jp>

印刷・製本所 シナノ印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えます

© 2010, Hidenori Sakurai, Printed in Japan

はじめに 38歳からは、今までの運命常識があてはまらない

私は現在、運命学を中心として、いくつもの研究会、勉強会を主宰しています。そこには大勢の男女が参加していますが、ほとんどの人が年齢不詳です。

若いのか、年をとっているのかわからない、という意味ではありません。年齢を越えた若さの持ち主ばかりなのです。

30代の華やきがあると思っていると、40歳をはるかに越えているという人ばかりです。しかし世間一般でみると、こういう人たちばかりではありません。実年齢より年とった雰囲気の人、かなり多いものです。

これはなぜでしょうか？

ズバリいえば、学ぶ姿勢をもちつづけているかどうか、だと思います。家の中に閉じこもらず、大勢のなかで一緒になって、しゃべったり、勉強したり、笑ったりという生活をしている人は、何歳になっても青春なのです。

私はこれまで何冊かの「年代論」を書いてきました。それはかつての『論語』の年

代論が、現状にまったく合わなくなっている、という思いから筆を取ったものです。

孔子は「三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る」と教えましたが、いまは「80歳にして天命を知る」時代です。アラフォー世代はまだまだ思いう年齢であって、人生で一番面白い時代、ということさえできるのです。

だからこそ、この年代の男女を中心として、私のところに、大勢集まってくるのではないのでしょうか？

私はこれらの人たちに、「38歳正午説」を説いています。40歳を過ぎたら、人生は灰色になるのではない。むしろそれからが、自分という人間が完成していく時間なのであって、ますます魅力が増していくのだ、といっています。

この本は、この日頃の私の考え方を一冊に集約したもので、その意味では、私の経験論です。ここにあげた「7つの習慣」を実践していくことで、38歳から必ず運がひらけていく、という考え方は、私のこれまでの人生経験であり、私をメンターとして慕って集まってくる人々も、この習慣を実行することで、現実に運をひらいています。大切なことは、行動であり、実践です。そのためには、まずこの本を読むことで、考え方を転換してほしいのです。

―本書の見方―

たとえば1章以降の本書の見出しには、一見すると「開運できそうな習慣」が並んでいます。「ひたすら同じ考え、同じ行動パターンを貫いてきた」というものもあります。

この習慣などは、とても素晴らしいものに見えますが、果してこの常識は正しいでしょうか。

38歳は人生の分岐点だけに、運の運び方も大きく変わる年齢です。人生の正午だけに、考えるとしたら、まさに今です。

これによって、人生でもっとも実りの多い夕方までの時間が、よくも悪くも変わってしまうからです。

そこで「65の考え方」について、Q & A方式で、あなたの生き方・常識を試せる構成にしました。ぜひ、あなたの開運常識が合っているかどうか、試しながら読み進めてください。

それだけでも、勉強になると思います。

大切なことは、これまでの常識にしがみつかないことです。企業でも、今までのあり方ではむずかしいということで、優秀な会社ほど、常識を覆しています。終身雇用の廃止など、その最たる例です。

これからも多くの常識が改変されることでしょう。それに負けないためにも、あなたにぜひ新しい習慣武装をしてほしいのです。

櫻井秀勲

『38歳から運がひらける7つの習慣』・もくじ

はじめに 38歳からは、今までの運命常識があてはまらない…… 1

プロローグ 「38歳」は人生の大切な区切り…… 11

1章「幸運を確実に引き寄せる人」の習慣

01 30代は、人生で一番重要な10年間と心得ている…… 20

02 38歳からは、真剣に立身出世主義を目指す…… 23

03 人生の一時期が輝けば、後は安泰…… 26

04 一人でやれることには限界がある…… 29

05 10年以上、一つの職種に就いている…… 32

06 ひたすら同じ考え、行動パターンを貫いてきた…… 35

07 他人をうらやむのはムダだ…… 38

08 くだらない特技や知識をもっている…… 41

09 大切なことは時間を問わず、即決する…… 44

あなたの運勢は大丈夫か？





2 章 「大勢の中でもひとときわ目をひく人」の習慣

- | | | |
|----|---------------------------------|----|
| 10 | 自分にはない能力をもった人とき合っている…… | 48 |
| 11 | とにかく一つの仕事に打ち込んだ…… | 51 |
| 12 | 自分なりの金銭、人生哲学をもっている…… | 54 |
| 13 | 職住接近で、仕事に全力を尽くしてきた…… | 57 |
| 14 | 言い訳なしで、結果を出すことに集中した…… | 60 |
| 15 | 自分一人の力で仕事の結果を出してきた…… | 63 |
| 16 | 〴〵してはならないこと〴〵と〴〵すべきこと〴〵を心得ている…… | 66 |
| 17 | メンター（心の師）による指導を受けてきた…… | 70 |
| 18 | 自分の中に知識や信念、成功の芽を蓄える…… | 73 |
| 19 | 「教わる」立場から「教える」立場へ変わる…… | 76 |

3章「自分の能力をばんばん開花させている人」の習慣

あなたの運勢は大丈夫か？



20	38歳から挽回の方法はいくらでもある	80
21	自分の能力を知りつくしている	83
22	38歳からは、むやみに方向転換しない	86
23	自分史年表をつくる	89
24	迷ったときは運命図に頼る	92
25	仕事をスムーズに運ぶ「奇数の法則」を知る	95
26	38歳からは、頭脳より「腹」で仕事をする	98
27	「表と裏」を使い分ける	101
28	信念を枉げずに愚直に突き進む	104
29	神仏の力に頼る「祈りの時間」を持つ	107
30	心と行動をすばやく切り替える	110

4章「挑戦をおそれない、ハートが強い人」の習慣

31	昨日までの自分を捨てる	114
----	-------------	-----

あなたの運勢は大丈夫か？

Q

5章 「まわりの人に愛され、大切にされる人」の習慣

- 39 自分の名前と顔を大切にする 140
- 40 大きなムリは聞けなくとも、小さなムリは聞く 143
- 41 情報開示型の人間になる 146
- 42 身銭を切る「とき」を知る 149
- 43 スピードの重要性を知る 152
- 44 ほめ方を覚える 155

あなたの運勢は大丈夫か？

Q

- 32 責任感の強さは最高の魅力である 117
- 33 過去の「成功と失敗」体験を忘れない 120
- 34 いままででも攻めつづける必要はない 123
- 35 「見えないもの」への畏敬の心をもつ 126
- 36 38歳は、「まだまだ」だ 129
- 37 自分の将来を小説にしてみる 132
- 38 得意なものや分野を一つに決める 136

あなたの運勢は大丈夫か？



6 章 「恋も家庭もいつもうまくいっている人」の習慣

-
- | | | |
|----|----------------------|-----|
| 45 | 酒の席で楽しい人になる | 158 |
| 46 | できる限り短所を直す | 161 |
| 47 | 「おや、まあ、へえの法則」を駆使する | 164 |
| 48 | 年下なら20代、年上なら50代まで | 168 |
| 49 | 女性も男性も自分の人生を中心に伴侶を選ぶ | 171 |
| 50 | 希望の8掛けで相手をさがす | 174 |
| 51 | 晴と曇を使い分ける | 177 |
| 52 | 相手をくわしく知る基準をもつ | 180 |
| 53 | 自分の直感に従う | 183 |
| 54 | 再婚、三婚、子連れでもかまわない | 186 |
| 55 | 「相手を幸せにできる力」がある | 189 |
| 56 | 恋人候補はできるだけ多く持つ | 192 |

あなたの運勢は大丈夫か？



7章 「気に溢れ、心も体も若々しく保っている人」の習慣

57	健康を保つことは、38歳以降の最大の仕事……………	196
58	年を重ねるほどに、増す美しさがある……………	199
59	黒やグレーなど、大人の装いに切り替える……………	202
60	感覚がズレないよう、同世代とつき合う……………	205
61	眉の描き方、ひげの生やし方は基本に戻る……………	208
62	胸を張って歩く……………	211
63	若さは魅力である……………	214
64	経験が人の顔をつくる……………	217
65	苦しい経験は避けるべきだ……………	220

プロローグ

「38 歳」は 人生の大切な 区切り

「38 歳は人生の正午」。

38 歳以降は、人生でももっとも実りの多い午後の
時間に突入します。

38 歳を、人生の前半と後半の区切りと考え、
より深く、より豊かな生活へと転換していきましょう。

★いま、なぜ「38歳」なのか？

男女とも魅力のピークは38歳

女性の美しさが、ぐんぐん伸びています。

以前なら女性の盛りは20代であり、30の坂を越えたと、衰えはじめるといわれたものです。実際、30を過ぎた女性は、自分でも花の盛りを越えたという思いが強かったせいか、急速におばさん化していったものです。また男も同じように、青年らしさを失い、急速に分別臭くなっていくのが普通でした。

ところが現在はどうでしょう？

女性に年を訊くのはマナーに反しますが、それでも気になって尋ねると、40代でも、びっくりするほどの美しさを保っています。

30歳くらいでは、まだ幼さの残るかわいらしさを保っている、といっていいくらいです。

実際、コスメ業界では、女性の美のピークは「38歳」と発表しているところもあり、またそれを疑う人もいないでしょう。

多分、表面上は、「いえ、もう年ですから」という顔をしていても、心の中では、自信をもっている女性は、相当多いのではありませんか？

男性はもともと精神的には大人になるのが、女性より遅いことはよく知られています。とはいえ、男性の場合は、全員が子どもっぽいわけではありません。

かりに「38歳」を人生の転換点と考えるならば、この時点で、子どもっぽい精神をもちつづけたタイプと、この年齢で男性の魅力のピークに達したタイプの、2つに分かれるのです。

35歳を失敗と成功の分岐点とするならば、38歳は、たった3年の違いですが、人生最初の結果がはつきり出てしまった年、ということができるとでしょう。

私の著書に『運命は「35歳」で決まるー』（三笠書房）という一冊がありますが、この35歳までに、しつかり人生行路を決めないと、そこで運命は決まってしまうのです。そして男性の「38歳」は、早くも第一期の結果が出てしまう年、といえると思います。

38歳は人生の正午

カール・ユングは有名な心理学者ですが、彼は太陽を人生のモデルに擬^きして、説明しています。それによると、38歳頃が人生の正午に当たる、といっています。

つまり38歳以前を人生の前半期、それ以後を後半期に分けて、その後半期も、前半期と異なる成長を遂げていく、と考えたのです。

私は若い時期にこの理論を知ったのですが、なぜ「38歳」が人生の正午に当たるのか、よく理解できませんでした。というのも、平均寿命が60代の時代に、38歳がピークというのは、あまりにもかけ離れた考え方だと思ったからです。

ところが現在は、男性の平均寿命が79歳となっています。すると、ユングの唱える「38歳正午説」は、まさにいまの時代を指すのか、というくらい、ぴたりと当たっています。

とはいえ、人間の若さは、年齢だけで考えるわけにはいきません。

サミュエル・ウルマンはドイツ系のアメリカ人で、企業家として成功を収めています。